



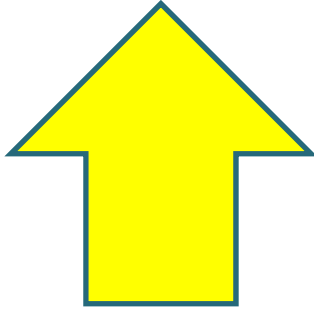
中原区地域自立支援協議会

「ボトムアップ・なかはらっく・中原！！」

平成25年11月29日（金）

～中原区地域自立支援協議会の組織図～

月1回
全体会議



月1回
事務局会議



～専門委員会～

☆地域移行委員会①②③...

☆まちづくり委員会①②③...

☆児童委員会①②③...

～渉外・広報～

☆なかはらファミリー

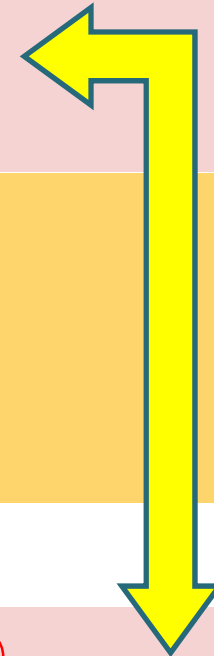
☆なかはら福祉健康まつり

☆パンフレット作成

☆区役所高齢・障害課①②③

☆基幹相談支援センター①②③

☆地域相談支援センター①②③



中原区の取り組み

- ①地域移行...地域移行していく上での課題として「地域の受け皿の少なさ」があるため、受け皿となるGH／CHを運営している市内の法人向けにアンケートの実施する。
- ②まちづくり...近年、災害による被害が増加しており、今年度は防災にスポットを当て、区内の災害ネットワークの理解を深める。
- ③児童...児童家庭課サポート担当の方から業務内容を説明していただき、今後の連携の在り方を確認する。区内の児童サービス事業所より説明をいただき、児童のサービスや制度について理解し、課題について整理していく。
- ④なかはらファミリー...当事者主体の集いの場を後方支援する。
- ⑤なかはら健康福祉まつり...地域自立支援協議会のアピール、施設等のボランティア募集を行う。中原区地域自立新協議会のゆるキャラを作成し、広報活動に活用していく。
- ⑥パンフレット...事業所など名称変更のため、新たなものを作成する。

①地域移行委員会

- ◎実際に医療機関からの地域移行に向けて取り組んでいる支援者、当事者をゲストスピーカーとして呼びし、課題を抽出していく。

～地域移行の課題～

- ① 1， 2年の自立訓練で地域移行していくことの難しさ。
- ② 退院に向けて、日中活動先や住まいを探すことが同時に進行してしまうことで、本人にとっての負担が大きいのではないか？
- ③ 知的障害者では、ホームの入居条件が週5日の通所先があることとなっており、通所が難しい方も移行できずにいるのでは？
- ④ 退院に向けてショートステイの利用を積み重ねていくなどの経験ができれば、徐々にホーム利用以外の選択肢の可能性が広がるのではないか？→入院中に利用できるサービスの少なさ。

今後に向けて→地域移行の受け皿となるGH／CHを運営している市内の法人向けにアンケートの実施。

②まちづくり委員会

◎今年度は防災にスポットを当て中原区の災害対策について検討する。

①避難所、二次避難所の体制、要援護者登録の現状や課題などについて二次避難所を担当されている中原区高齢・障害課／早坂課長に質問事項の返答をいただき、災害対策の理解を深めていく。
→中原区の要援護者登録数、要援護者登録が進んでおらず手さげ方式が検討されていることなど。

②避難所誘導ゲーム（HUG）を体験し、実際に震災が起こった時にどのようなことが起こりうるのか、避難所を運営する側の視点を学ぶ。

～これからの動き～

→地域の防災に先駆的に取り組んでいる地域包括支援センター等との連携を図り、中原区の災害時の支援体制について理解し、障害者の支援体制の検討を行う。

③児童委員会

- 昨年度実施した「生活介護事業所における看護師業務及び医療的ケアに関するアンケート」を集約、課題を抽出していく。
- 児童支援の事例検討を通して課題を整理する。

①アンケートの集約から...

現状～福祉現場の看護師が困っていることって？～

- 福祉の現場では医師からの指示がない。
- 他職種から看護師へ医療ケアを丸投げされてしまう。
- 看護師の業務が不明瞭。
- 小児の場合特に高い専門性が要求される。

課題～なぜ福祉現場の看護師が不足しているの？～



- 一人職種の為相談できる相手がいない。
- 責任が重い。
- 病院勤務の看護師が不足しており、福祉現場で働かなくても困らない。
- 小児の場合はケアが個別化。経験のある看護師が少ない。

考察～どうしたら福祉の現場で看護師が仕事を続けられる？～

- ・カンファレンスや勉強会で福祉系看護師の専門性を高める機会を設ける。
- ・福祉系の看護師の連絡会や連携、ネットワークの構築を図る。
(川崎市には「川崎市看護師協会」、
中央療育センターでは専門職の連絡会がある)
- ・提携病院などの意思へ相談できるようなシステムを作る。
- ・福祉と医療の歩み寄り、連携が取れるような環境整備。



市内の生活介護事業所にアンケート結果を報告し、市自立支援協議会にも課題提出していく。



②児童支援の事例検討

<事例検討で取り上げたケース>

- 兄弟で障害がある家族の支援の事例。
病気がちな弟の為に母が兄を送れず、
臨時対応が随時必要となる。
- 学齢期の不登校児に対するケア。
不登校対応の施設は家族による送迎が不可能であることや集
団が苦手な特性から利用できず。障害児者一時預かりの特別
枠から丁寧な関わりを続け、週三回の登校に結び付いた。
- 母の入院時の対応の事例
同事業所内（相談・入所・通所）の連携により母の入院時の
対応がうまくいった。



<事例検討の中で出てきた児童支援で困ったこと>

- お母さんが入院。子どもを預けたくても医療ケアが必要な為受け入れ先がない。病気でもないのに入院するしかない？
- 父子家庭になり、短期入所を利用していた。その後正式入所が決定。そうしたら送迎が利用できなくなってしまう。近くに転校するのが原則？もう少しで卒業なのに…
- お母さんが怪我をして朝の準備やバスのポイントまで送れなくなってしまった！怪我が治るまで学校を休む？

その他、お母さんの出産、
兄弟の学校行事などなど、
対応の要求は多いが受け皿は…



～課題として見えてきたもの～

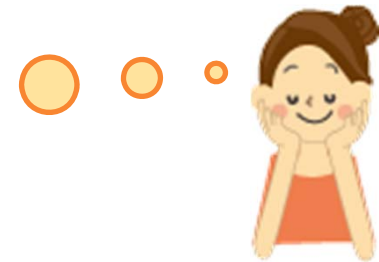
- ・ 親の病気や怪我による一時的、緊急的な支援の難しさ。
- ・ 行政の窓口がよくわからない。（児童なの？障害なの？）
 - ・ ヘルパー・事業所の不足
 - ・ 通所、送迎の他のサービスとの併用
 - ・ 医療的ケアが必要な児童の受け入れ

などなど...

そこで、まずは児童支援の事業や窓口の確認

児童関係の事業所の事業内容や区役所の児童家庭相談サポート担当や他の児童関係の窓口の役割についてご説明いただきました。

今後の児童支援マップ
のような形にしていけ
たらなあ...





今後の予定

中原区の児童支援における課題について事例の詳細を確認するとともに件数等の具体的な状況をまとめる。

他の区の児童専門委員会からも同様の、もしくは違う課題が出ているか、情報提供をお願いします。

児童支援の課題について多くの方々に広く認識していただき、自立支援協議会としてどんなことをしていけるのかを考えるために現況のデータや詳細と共に市の協議会へ報告する。

④なかはらファミリー

☆10月12日（土）聾学校で
第5回「なかはらファミリー」を開催しました☆



3名の実行委員を中心に企画・準備を行い、
当日を迎えることができました☆

☆ゲームの様子☆

「ジェンガ」「ウノ」などのゲームをみんなで楽しみました！



ゲームの内容やルールも実行委員が考え、準備しました！

☆しゃべり場の様子☆

「困っていること」「好きなこと」について話し合いました。



話が盛り上がり、時間が足りませんでした(_ _ ;)

⑤なかはら健康福祉まつり

なかは
らつく
です！！



中原区地域
自立支援協議会
のゆるキャラ
その名は...

○11月16日（土）に行われる、なかはら健康福祉まつりに向けて、協議会のゆるキャラを作成！！
中原区にお住まいの当事者の方がイラストを担当してくれました。パンフレット等で活躍してくれています！！

⑥パンフレット作成

○今年度、相談支援センターの名称等が大きく変わったため、新たなパンフレットを作成しました。

<h3>活動案内</h3> <ol style="list-style-type: none">① 地域情報の交換会 色々な制度サービス、地域で活用できる情報の交換② 地域ネットワーク作り 障害のある方、その家族や支援をしてくださる地域の方々との交流③ 公開報告会 協議会での話し合いや取り組み内容の報告会④ その他 地域へ向けた広報活動 	<ul style="list-style-type: none">毎月の定例会議 <p>地域の課題についての話し合いや情報交換をしています。 また地域で障害のある方、その家族、支援機関等をつなぐネットワーク作りにも努力しています。</p>公開報告会 <p>昨年度から地域福祉のために協議会で議論した内容や取り組みについてお知らせする報告会を実施しています。</p>なかはらファミリー <p>「就労先や通所先以外で集まれる場所を」という当事者の声を自立支援協議会も一緒に形にしました。当事者が主体のお話し合いやゲーム等の楽しい集まりです。</p>	<ul style="list-style-type: none">なかはら健康福祉まつり <p>中原区役所で実施されている健康福祉まつりに毎年参加し、協議会の広報活動や他団体との交流を行っています。</p> <p>協議会のゆるキャラです ☆なかはらっく☆</p>  <p>なかはらっく共々、 中原区の協議会を よろしくお願いいたします。</p> 
--	--	---

～今後の動き～

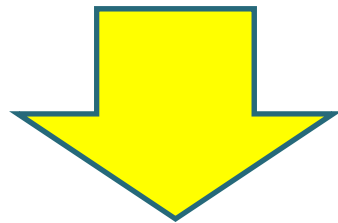
→年間のまとめ冊子作りに向けて動きます。

2014/2/16

～まとめ・今後に向けて～

●○1月に開催予定の公開報告会に向けて準備を行います。

○今年度は各委員会から実践例をもとに全体会で報告し、全体で課題等について話し合っています。様々な関係機関が連携しているからこそ、気づかなかったアイデアが生まれたりします。個々の構成員が実践を通して利用者から聞いた「声」を大切に汲み取っていきます。



今年度のキャッチフレーズ！！

ボトムアップ・なかはらっく
中原！！



ご清聴ありがとうございました。

